

日本スキー博物館特別展 **長野オリンピック感動と興奮の16日間** 2017年12月16日(土)~2018年6月10日(日)

後援：日本オリンピック委員会・信濃毎日新聞社

**Memories of the Nagano Winter Olympics**

スキーでは日本ジャンプ陣が大活躍。ノーマルヒルで船木選手が銀メダル、ラージヒルで船木選手が金メダル、原田選手が銅メダル。団体に金メダルを獲得しました。



photo:南雲精朗



長野オリンピック開会式は善光寺の鐘の音を合図に、この地方の伝統芸能、日本の伝統文化を代表する大相撲力士による土俵入りが披露され、天皇陛下の開会宣言、アルベールビル大会の銀メダリスト伊藤みどりさんによる聖火点火、複合の荻原健司選手の選手宣誓、最後に五大大陸を衛星回線で結んでの「第九」の大合唱で終わりました。



野沢温泉ではバイアスロン競技が開催され、多くの観衆が集まりました。



野沢温泉村から森敏選手、富井彦選手がノルディック複合競技に出場し、複合団体に5位に入賞しました。力走する森選手。

- 1924-CHAMONIX MONT-BLANC
- 1928-ST.MORITZ
- 1932-LAKE PLACID
- 1936-GARMISCH-PARTENKIRCHEN
- 1948-ST.MORITZ
- 1952-OSLO
- 1956-CORTINA D'AMPEZZO
- 1960-SQUAW VALLEY
- 1964-INNSBRUCK
- 1968-GRENOBLE
- 1972-SAPPORO

**感動と興奮の軌跡 日本冬季五輪史**

- 1976-INNSBRUCK
- 1980-LAKE PLACID
- 1984-SARAJEVO
- 1988-CALGARY
- 1992-ALBERTVILLE
- 1994-LILLEHAMMER
- 1998-NAGANO
- 2002-SALT LAKE CITY
- 2006-TORINO
- 2010-VANCOUVER
- 2014-SOCHI

第1回の冬季オリンピックの競技数は4競技16種目でしたが、2014年にロシア・ソチで行なわれた第22回冬季オリンピックの種目数は、7競技で98種目にまで増えています。7競技の分類は、スキー、スケート、バイアスロン、ポブスレー、リュージュ、カーリング、アイスホッケーです。このように、冬季オリンピックは回数を重ねるごとに、種目数が多くなり、それに伴い参加国も増えてきています。

